

走錨に注意！！

令和6年大島海峡内で走錨による船舶海難が2件発生しています。

台風や冬場の低気圧の荒天により走錨が発生した場合、沿岸への乗揚げや漁業施設、橋脚などの構造物へ衝突し、大災害に発展することがあります。

避泊する船舶は、次のことを確認し、走錨事故を防止しましょう。



✓ 投錨位置の選定

- 錨かきの良い場所（砂・泥）を選ぶ
- 波浪等外力の影響の少ない場所（台風の進路等に注意）を選ぶ
- 陸岸の距離、障害物、他船への適切な距離を確保する

錨泊方法の検討

荒天避泊における錨泊方法は、強風の風速及び風向の時間的な変化、波浪状況及び泊地の状況を考慮し錨泊方法（**単錨泊**・**振れ止め錨泊**・**双錨泊**）を検討しましょう

✓ 守錨時の留意事項

- 主機及び揚錨機の準備、内部連絡体制の確立
- 最新の気象情報の入手
- 定期的船位測定の実行
- 十分な見張り（自船及び他船の走錨監視等）
- 国際VHF（ch16）の常時聴取

